サケ新聞

平成18年
2月14日
城東小学校
命の体験部

放流まで大きく育てよう！！

受精卵
この中ですくすく
育っていたんだね

メスのお腹を切って
卵を取り出すよ

オスの精子をかけてるよ

博物室となかよし学級の前ではこんなに違う！？

成長の早さがこんなに違うぞ

オレンジ色の袋もとれて、すいすい泳いでいるよすごいね。

あの卵から魚の形になってできた。不思議だね

上の写真が博物室の稚魚で下の写真がなかよし学級の前の稚魚です。レンジ色の袋をおなかにつけたままだったオスの精子をかけてから、水槽に入れました。その後、同じ日に受精させたのに、場所によって成長の早さが違うのはなぜでしょう。

今年は寒かったですもの。なかよし学級の前が寒すぎたのかな。

なかよし学級の廊下は一番寒いとっていることになるのかなあ。

背骨が曲がっている！！

博物室の中の水槽に背骨が曲がっている稚魚がいました。周りの稚魚と違ってうまく泳げません。でも必死になって泳ごうとしていました。命ってすごいですね。

ｹｲｼﾞって知ってる？
ｹｲｼﾞとは「白鮭」のことです。
みんな秋頃一斉に川に
戻ってきます。その中に
ごくまれに小さい鮭が
いるのです。それがｹｲｼﾞです。
ｹｲｼﾞはとてもおいしいそうです。

1年から6年までの
稚魚の合計は
938匹でした。
ふ化率は49％でした

がんばれ さけくん